

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



＜「小樽総合博物館」＞

10月20-21の特別企画
初等部メンバーは初日スポーツ
泊りに続き、翌日は小樽
エリアにて見学・体験・Amは
左記施設、Pmは水族館と
フルメニュー。(中学生/修学旅行)

INDEX

P1: 巻頭言
P2: ヒューマンラスト/諸活動
p3: ↓会費納入、企画案内他
p4-5: 修学旅行レポート
p6-7: 2学期進行、初等行事
p8: エッセー、カレンダー、後記
[チラシ、案内他]

居場所をなくす若年女性たち

～詩梨ちゃん事件の背景～

さっぽろ子育てネットワーク 河野和枝

昨年11月、「池田詩梨ちゃん虐待事件」の裁判員裁判が始まった。裁判傍聴に挑戦し、現在仲間と市民検証の研究会を重ねている。苦戦して確保した傍聴券、それでも3回傍聴できた。22歳の池田莉菜被告は、あどけなさ残る容姿で「子どもを可愛がっていた」と無罪を主張。両親はDV離婚、困窮、母との確執、18歳妊娠、未婚出産、「すすきの」就職、同棲、わが子死亡、虐待裁判と被告は辿った。

本意ではないとしても希望につなげた「すすきの」の地で事件は起こった。傍聴席で罪状と刑の過酷さに胸が押しつぶされながら、刑事裁判として扱われるこの種の裁判に違和感と無念さを痛感する。研究会では福祉裁判を願っている。

コロナ禍の今日、家族の失業、収入低下、ステイホームなどが若年女性たちを襲う。「親からの暴力」「性被害」「孤立」などで居場所をなくし夜の街を徘徊、結局「JK(女子高校生のこと)ビジネス」に多く取り込まれる。多様化する性風俗産業、「パソ活」「妊活」「裏オプ」など少女売春の公然化が露呈する。もはや「補導」だけで解決する問題ではない。

莉菜さんのように貧しさや孤立を背負った若い女性にとって、生活保障と優しさをもつ「すすきの」は特別なのだ。家族、学校で得られないものが「すすきの」にはある。詩梨ちゃん事件の背後に「居場所をなくした」若年女性の問題が潜む。

ことさら自助が強調され公助が薄っぺらなこの社会、共助さえ持たない若い女性たちを蝕んでいる社会構造を見捨てられずにいる。

[筆者は表記団体代表や自治体問題研究所・理事長等を務め、小学校設立運動も担っています]